

研修プログラム概要

| | | |
|-----------------|---|----|
| 研修期間 | 2.25 | 年間 |
| 研修病院（代表病院） | 川西市立総合医療センター | |
| 研修協力病院（パートナー病院） | 下記のいずれかの施設 第二協立病院、協立記念病院、協和マリナホスピタル、協和会病院、千里中央病院 | |
| 研修協力薬局（パートナー薬局） | | |

| 区分 | 研修項目 【ガイドライン推奨期間】 | 研修期間 | 研修時期 | 研修施設 | 研修のポイント・特色 |
|----|---------------------------------|------|---------------------------------------|-------------------|--|
| 必修 | (1) 調剤業務 【3ヶ月程度】 | 10ヶ月 | 1年目（4-8月） 2年目（4-8月） | 医療センター パートナー病院 | ・ 基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・ 散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得 |
| 必修 | (2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】 | 2ヶ月 | 1年目（5月） 2年目（8月） | 医療センター パートナー病院 | ・ 医薬品供給体制の理解、発注・在庫管理・各部署への払出し業務等の実践 ・ 麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務 |
| 必修 | (3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】 | 2ヶ月 | 1年目（11月） 2年目（10月） | 医療センター パートナー病院 | ・ DI業務、質疑応答の実践、プレアボイド報告 ・ 新薬採用審査における評価資料、DIニュースの作成 |
| 必修 | (4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】 | 13ヶ月 | 1年目（11-3月） 2年目（10-3月） 3年目（4-5月） | 医療センター パートナー病院 | ・ （急性期）内科系・外科系中心にローテーション ・ （慢性期）回復期・緩和ケア・障害者等をローテーション ・ 症例報告（10症例）の作成 |
| 必修 | (5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】 | 1ヶ月 | 3年目（6月） | パートナー病院 | ・ 老人保健施設の薬剤師の役割習得 ・ 訪問看護ステーションでの薬剤師の役割習得、多職種連携の実践 ・ 急性期から慢性期・在宅まで地域包括ケアシステム全体を学び実践 |
| 必修 | (6) 医療安全 【全期間】 | 全期間 | 通年 | 医療センター パートナー病院 | ・ インシデントレポート作成、分析 ・ KYT（危険予知訓練） |
| 必修 | (7) 感染制御 【全期間】 | 全期間 | 通年 | 医療センター パートナー病院 | ・ ICTラウンド同行、抗菌薬使用届出の確認 ・ 標準予防策（手指衛生等）の実践 |
| 必修 | (8) 地域連携 【全期間】 | 全期間 | 通年 | 医療センター パートナー病院 | ・ トレーシングレポート運用、退院時サマリー作成 ・ 地域連携研修会参加、地域保険薬局との情報交換 |
| 必修 | (9) 無菌調製 【2週間】 | 4ヶ月 | 1年目（5-6月） 2年目（7-8月） | 医療センター パートナー病院 | ・ 高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・ 閉鎖式接続器具（CSTD）の適正使用 |
| 必修 | (10) がん化学療法 【1ヶ月】 | 2ヶ月 | 1年目（9-10月） | 医療センター パートナー病院 | ・ レジメンチェック、支持療法の提案 ・ 外来化学療法室での薬剤師外来（面談）の実践 |
| 必修 | (11) TDM | 随時 | 1年目 2年目 | 医療センター パートナー病院 | ・ 抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 |
| 必須 | (12) チーム医療・専門領域 | 随時 | 1年目 2年目 | 医療センター パートナー病院 | ・ NST、ICT、褥瘡、心不全、HCU、小児、周産期等における薬剤師の役割習得 |
| 必須 | (13) その他 | 随時 | 1年目 2年目 | 医療センター パートナー病院 | ・ 1年間の総括として法人多職種によるふりかえり報告会での発表 ・ 新人薬剤師臨床研究研修プログラム 「研究を志向する薬剤師を目指して— 臨床疑問から臨床研究へ—」 |

補足事項
 研修生により研修時期は異なります。
 1年目4月～2年目6月：代表病院で研修
 2年目7月～3年目6月：パートナー病院のいずれかの施設で研修